

日本登山地形図 (TOP010M Plus) の特徴

日本登山地形図 (TOP010M Plus) は、昭文社が整備した「山と高原地図」61冊分のデータをベースに、国土地理院2万5千分の1地形図の元となる数値地図 (国土基本情報) の情報を加えた登山や地理調査に最適なルート探索可能なデジタル地形図です。

特筆すべき事項として、「数値標高データ」を備えていることです。カシミール3Dでルート作成 (新規及び変更) をするとウェイポイントの標高値がゼロになるために後で入力しなければなりません、TOP010M Plus では標高値が自動的に正しく反映されます。

※TOP010M Plus の「TOP0」とは、topographic map の略で等高線入り地図という意味です。

1. 収録内容

(TOP010M Plus Ver6)

収録内容	収録数	アイコン
昭文社登山道の総距離	27,050km	
参考コースタイム区間	約 18,000	
参考コースタイムポイント	約 17,000	
山頂	17,489	
登山コメント	約 5,200	
登山届	約 350	
山小屋	約 420	
避難小屋	約 370	
水場	約 1,460	
展望箇所	約 660	

収録内容	収録数	アイコン
展望台	約 330	
三角点	107,646	
水準点	約 17,200	
電波塔	約 17,900	
危険箇所	約 620	
クサリ場	約 50	
お花畑	約 1,550	
注意箇所	約 750	
休憩所	約 460	
トイレ	約 9,370	
トイレ（登山施設）	約 1,450	
登山口	約 1,550	

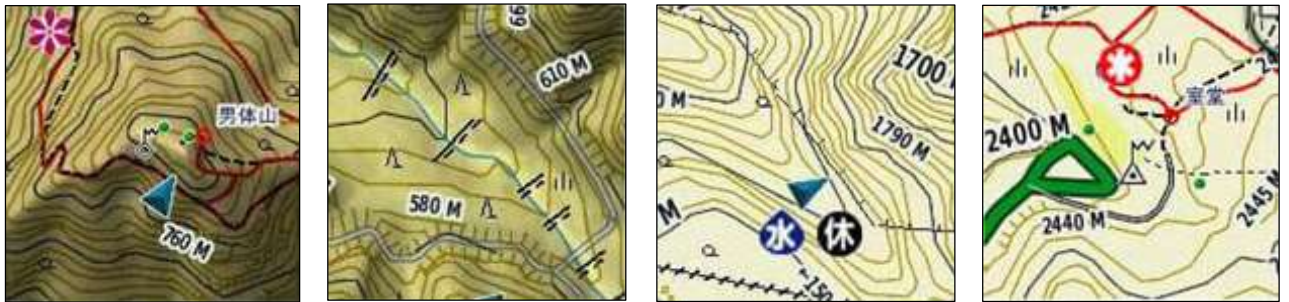
○昭文社最新版 2020 年度、国土地理院 2020 年度最新地図データ使用 (Ver6)

○市街地でも十分に使える 1/25000 レベルの詳細道路情報を収録

○平面状の地図データとは別にデジタル標高データを備えていますので、3 次元的な地形陰影表示やルートの高低差をグラフで確認する事も可能

2. 地形図の表示例

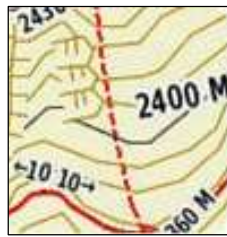
昭文社「山と高原地図」の地図データに国土地理院2万5千分の1地形図を追加し、送電線・電波塔・標高点・電子水準点・三角点・水準点・ダム・園丁・植生記号などが収録されています。



登山コースは赤実線で表記した一般登山道（ある程度整備された登山道）と、赤の破線で表記した難路（岩稜やヤブなどを含んだ経験者向きの登山道）、黒の破線で表記した国土地理院調査の登山道、柴細実線で表記した遊歩道に分けられているので、登山中もルートを確認しながら進むことができます。



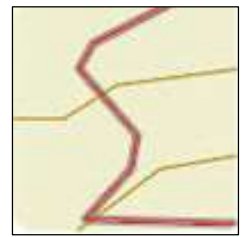
一般登山道コース



経験者向きコース



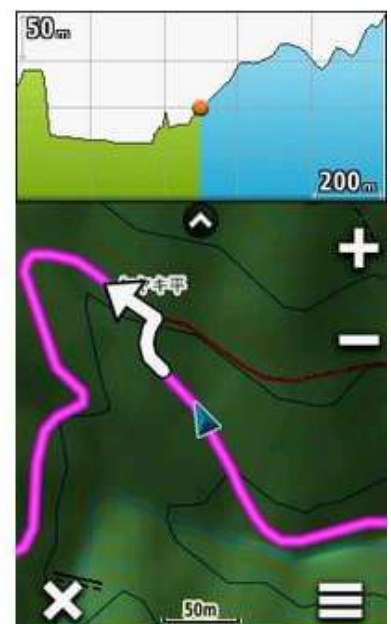
国土地理院の登山道



遊歩道

3. 登山道ルーティング機能

現在の登山口から目的の山頂を指定すると、自動的に登山道を選んでルートを表示します。九十九折やジグザグの登山道も考慮した全体距離が確認でき、その間の高低差もグラフで表示可能です。



※安全性に考慮して昭文社実踏調査分の登山道のみ対応しています。（赤色の登山道）

4. 登山の目安時間の確認機能

地元の登山家による昭文社独自の実踏調査と情報を元にした登山道のコースタイムデータが収録されているので、登山の計画を立てやすくなります。

また、実際に自分の歩く速度と次ポイントまでの残距離から到着予定時間が再計算されコースタイムが変動するので、実際のペースに合わせてコースの立て直しもその場で行えます。

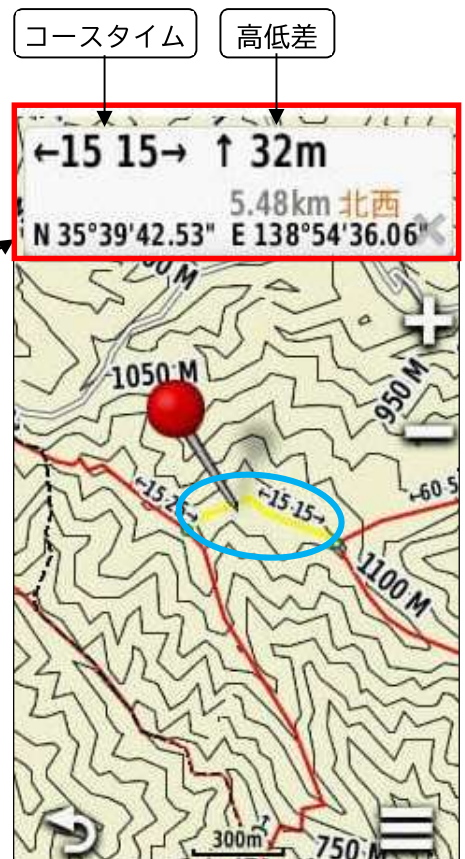
ポインターをコースラインに重ねるとコース情報にもコースタイムの他、高度（高低差）も表示されます。

コースタイム表示は、コースポイントからコースポイントまでの時間が表示されます。

「← -- →」；難路などのため「山行タイム無し」のコースになります。

「←60 X→」；左方向へは60分、右方向へは一方通行により通行不可という意味になります。

※マップソースや BaseCamp などのソフトやバージョンにより表示内容が異なる場合があります。



5. 実踏調査による登山道の収録

データ鮮度は最新の国土地理院地形図 2020 年度に加え、最新の昭文社「山と高原地図」2020 年度版 (Ver6) を収録。そのため、「実踏調査済み」ルートや登山の目安になるコースタイム・山小屋や水場の位置・危険個所や目印など、登山に必要な情報も最新のものを反映しています。

(1) 登山道の精度向上

地元登山家による実踏調査による精度向上



Ver5



Ver6

(2)危険箇所・注意箇所の追加

より安全に登山や地理調査を行えるようサポート



Ver5

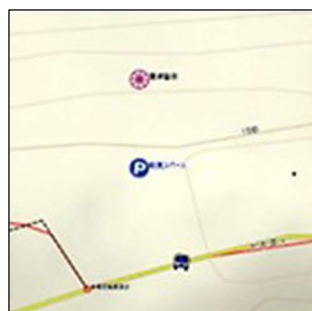


Ver6

(3)駐車場情報など便利な情報を追加



Ver5

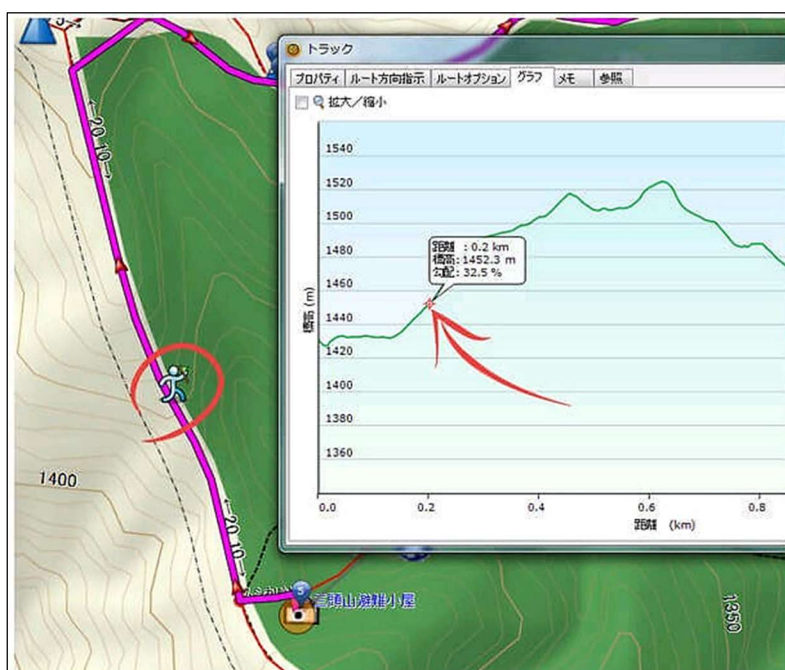


Ver6

6. パソコンでの登山道のルート管理

Garmin から無償提供されている地図管理ソフト「BaseCamp(Windows 版)」を使用することにより「BaseCamp」にルートが保存されている場合、ポインタをルートに重ねると高度やコースタイム、次のポイントなどを確認することができます。

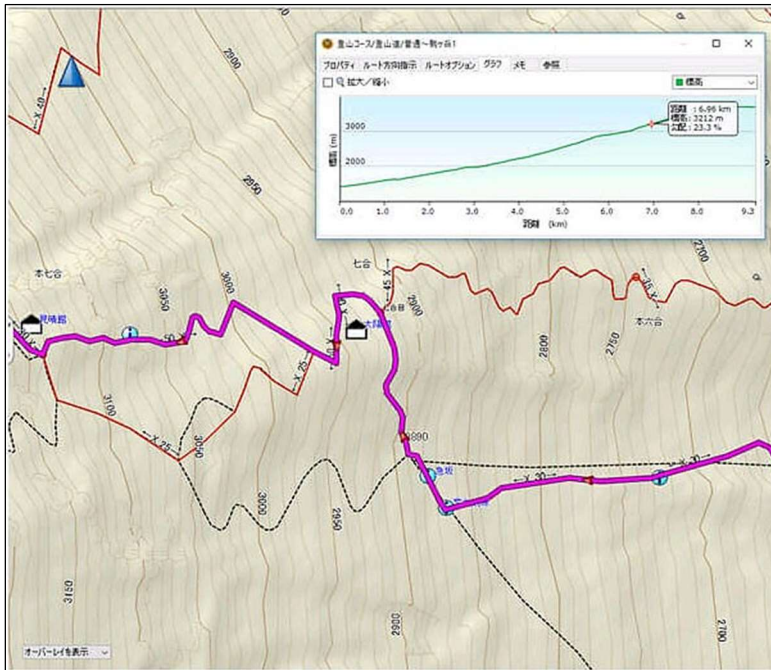
さらにプロパティの「グラフ」上でポイントを動かすと人アイコンが表示されます。これによってグラフ上の現在地はルート上のどこか、ルート上の位置はどのくらいの標高か、などを簡単に知ることができますので、登山に行く前の下調べは勿論、登山から帰って来た後も楽しくルートの管理ができます。



7. パソコンでの登山道のルーティング

パソコンの BaseCamp で登山道のルーティングが可能なので、予めどのルートを通るか吟味しながらルート作成が行えます。

※安全性に考慮して昭文社実踏調査分の登山道のみ対応しています。



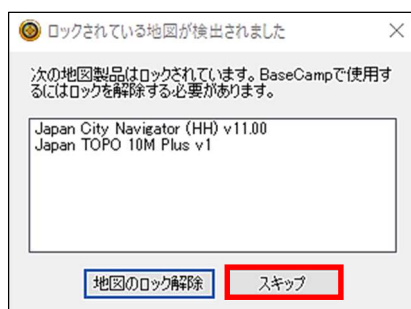
TOP010MPlus V6
登山道に沿ったルート

※ルート作成については、当ホームページの「ルート作成&ナビゲーション (BaseCamp 編)」をご覧ください。

8. 日本登山地形図 (TOP010M Plus) 使用上の注意

(1) Ver4 からはパソコンへのインストーラーが付属しませんので、**パソコンで地図を見る場合は microSD をパソコンへマウントして下さい。**ストレージとして認識されます。

(2) BaseCamp を起動すると地図ロック解除の問い合わせがありますが、microSD 版はロック解除作業は必要ありませんのでスキップして下さい。



(3)Ver6 の地図が認識されないトラブルの対応

BaseCamp(Ver4.7.4)で、Ver5(TOP010M Plus)は認識されたのに Ver6 が認識されない不具合が発生しています。

GARMIN JAPAN(サポート)に問い合わせたら下記のような回答がありました。

(2022年9月20日時点)

差出人：service.JP@garmin.com

件名：BaseCampのTOP0 10M Plus V6の読込エラーについて

〇〇〇〇様

平素は弊社製品をご愛用下さいまして誠にありがとうございます。

ご指摘の症状にてご不便をお掛けしており申し訳ございません。

現在最新版のBaseCamp Ver4.7.4でTOP0またはDKG Mapの表示が行われない場合は以下操作を実施してください。

BaseCamp(Ver4.7.4)

表示できない場合には、一旦旧バージョン(Ver4.5.1)へ更新し、その後に上記最新版のVer4.7.4へ更新してください。

1. BaseCampをPCよりアンインストールしてください。

2. [こちら](#)からVer4.5.1をダウンロード

https://download.garmin.com/jp/download/JP_SW_UPGRADE/BaseCamp_451.exe

3. ダウンロードしたBaseCamp_451.exeをダブルクリックし、インストール

4. BaseCampを起動し、デバイス(microSD)をPCに接続してください。

地図の読み込みが開始されますので、地図下のバーの読み込みが完了するまでお待ちください。

地図名が正常に表示され、読み込みが完了しましたら、画面上部の[地図]⇒[TOP0]または[DKG Map]を選択し、地図が表示されるかご確認ください。

5. [こちら](#)からVer4.7.4をダウンロード

<https://www.garmin.com/ja-JP/software/basecamp/>

※1 最新版はGARMIN JAPANのホームページ(スポーツ&アウトドア→Basecamp)から入手できます。

6. ダウンロードしたBaseCamp_474.exeをダブルクリック、インストール

※2 [アンインストール]が表示された場合は、[アンインストール]を行います。

再度[BaseCamp_474.exe]をクリックし、インストールを行ってください。

7. 地図表示を確認してください。

何卒宜しくお願い致します。

(注)当資料は、GARMINのホームページから引用して作成しました。